

分散名人(国内重視型)

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第2期(決算日2021年3月22日)

作成対象期間(2020年3月24日~2021年3月22日)

第2期末(2021年3月22日)	
基準価額	11,705円
純資産総額	5,435百万円
第2期	
騰落率	29.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「分散名人(国内重視型)」は2021年3月22日に第2期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主として、投資対象ファンドへの投資を通じて、4つの資産(国内債券、国内株式、国内リート、金)に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」を選択し、該当のファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。



ちばぎんアセットマネジメント

東京都墨田区江東橋2丁目13番7号

<照会先>

電話番号：03-5638-1451

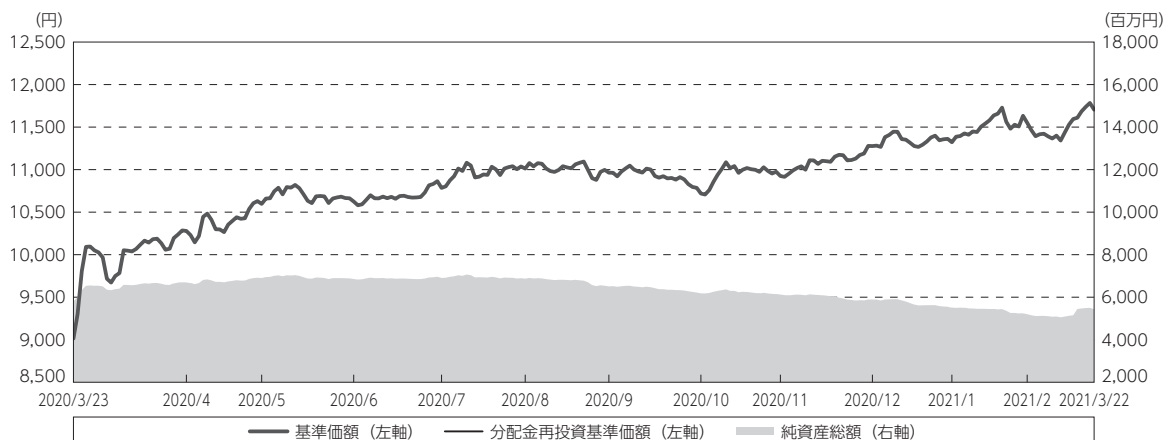
(受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)

ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年3月24日～2021年3月22日)



期首：9,014円

期末：11,705円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：29.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年3月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象ファンドの騰落率は以下の通りです。

組入ファンド	投資資産	当作成対象期間末 組入比率	騰落率
日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	国内債券	24.5%	-2.1%
日本株好配当マザーファンド	国内株式	25.1%	62.9%
Jリート・アクティブ・ファンド（適格機関投資家向け）	国内リート	24.7%	70.2%
F O F s用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	金	24.7%	14.2%

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は当ファンドへの組入日からのものです。

(注2) 騰落率は分配金再投資ベースです。

当ファンドの基準価額は、当期末において11,705円となり、当期のリターンは29.9%（信託報酬控除後）のプラスとなりました。

主に国内リートや国内株式がプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

(2020年3月24日～2021年3月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	100	0.921	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(42)	(0.384)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(54)	(0.494)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.045	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(5)	(0.045)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.005	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	106	0.971	
期中の平均基準価額は、10,840円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応しているものを含まず。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

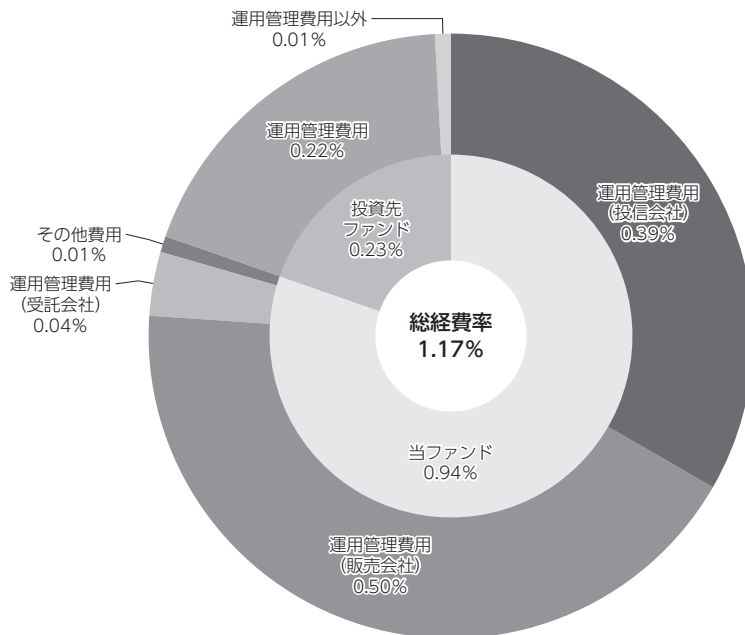
(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.17
①当ファンドの費用の比率	0.94
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注5) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年3月22日～2021年3月22日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの設定日は2019年1月31日です。

	2019年1月31日 設定日	2020年3月23日 決算日	2021年3月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,014	11,705
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 9.9	29.9
純資産総額 (百万円)	1,213	5,811	5,435

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年3月23日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注4) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

投資環境

(2020年3月24日～2021年3月22日)

国内債券市場

国内債券市場は、期初から2020年4月にかけては景気の先行き警戒感に加え、日銀による追加緩和への思惑が強まったことを背景に、上昇しました。その後は日銀による国債買入れオペの動向や新型コロナウイルスの感染動向などを睨みながらもみ合う展開が続きました。2021年2月にかけては、米国長期金利の上昇や日銀の政策見直しへの思惑などから下落する局面もありましたが、期末にかけては日銀が過度な金利上昇を容認しない姿勢を示したことから持ち直しの動きとなりました。

国内株式市場

国内株式市場は上昇しました。期初から2020年6月にかけては、コロナ禍に対する各国政府の経済対策や金融当局による金融緩和策などを好感し、上昇しました。その後はコロナ禍による経済停滞や新規感染者数の増加などを背景にもみ合う展開が続きましたが、11月以降は米国大統領選挙の通過により政治的な不透明感が払しょくされたことに加え、ワクチン開発の進展を受けた経済正常化期待や米国の大規模な経済対策が追い風となり、上昇しました。

国内リート市場

国内リート市場は上昇しました。期初から2020年6月にかけては、コロナ禍に対して各国政府による大規模な経済対策や、中央銀行による金融緩和策が打ち出されたことを好感し、上昇しました。その後は新型コロナウイルスの新規感染者数の世界的な増加などを受けてもみ合う展開が続きましたが、期末にかけてはワクチン接種の拡大による経済正常化期待や、米国の大規模な経済対策への期待などを背景に上昇しました。

金市場

金価格は上昇しました。期初から2020年8月にかけては、世界景気の悪化や米長期金利の低下、米中対立の激化、ドル安などを背景に上昇基調となりました。その後は、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展による経済正常化期待の高まりや米国長期金利の上昇、ドル高などを受けて軟調な動きとなりましたが、前期末比では上昇して期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年3月24日～2021年3月22日)

○当ファンド

当期末における各投資対象ファンドの組入れ比率は以下の通りです。なお、各投資対象ファンドへの投資割合は、4分の1ずつの均等配分を基本とします。

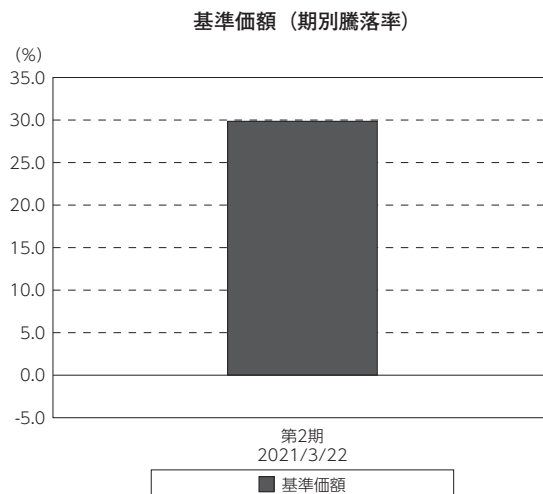
組入ファンド	投資資産	当作成対象期間末組入比率
日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	国内債券	24.5%
日本株好配当マザーファンド	国内株式	25.1%
Jリート・アクティブ・ファンド（適格機関投資家向け）	国内リート	24.7%
FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	金	24.7%

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年3月24日～2021年3月22日)

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

右記グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2020年3月24日～2021年3月22日)

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。
 なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 2 期
	2020年3月24日～ 2021年3月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,705

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後も国内債券、国内株式、国内不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を実質的な投資対象とする各主要投資対象ファンドを通じて、中長期的に収益が期待できる4つの各資産に均等に投資を行ってまいります。

引き続き、値動きが異なる傾向にある4つの資産を組み合わせることにより、基準価額の変動を抑えながら、収益の獲得を目指してまいります。

お知らせ

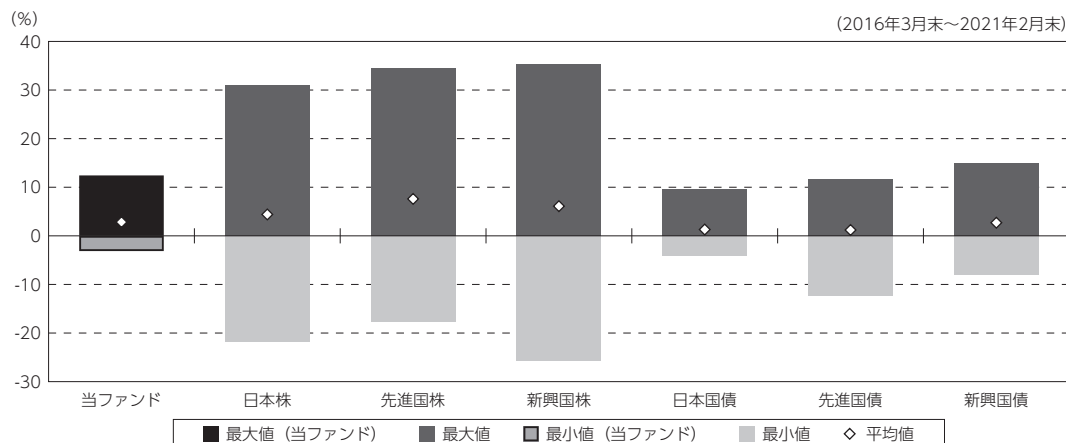
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2019年1月31日から2034年3月21日までとします。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	4つの資産（国内債券、国内株式、国内リート、金）それぞれに投資をする各投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、投資信託証券を通じて、4つの資産（国内債券、国内株式、国内リート、金）へ均等に分散投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等のうちから、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配を行う方針です。ただし、分配対象金額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 収益分配に充てなかった留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	12.4	30.9	34.5	35.2	9.5	11.6	15.0
最小値	△ 3.1	△ 21.7	△ 17.6	△ 25.7	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	2.8	4.4	7.6	6.1	1.3	1.2	2.7

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2016年3月から2021年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年1月以降の年間騰落率を用いております。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：Morningstar 日本株式指数

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株：Morningstar 新興国株式指数

日本国債：Morningstar 日本国債指数

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

上記の代表的な資産クラスの指数を変更いたしました。当ファンドの商品性に变更ございません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2021年3月22日現在)

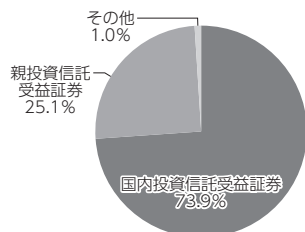
○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
	%
日本株好配当マザーファンド	25.1
Jリート・アクティブ・ファンド(適格機関投資家向け)	24.7
FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	24.7
日本超長期国債ファンド(適格機関投資家向け)	24.5
組入銘柄数	4銘柄

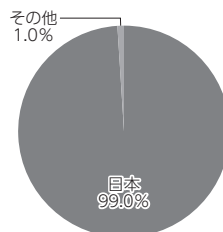
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

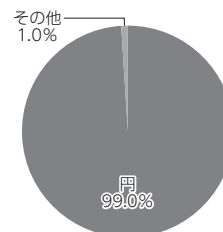
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

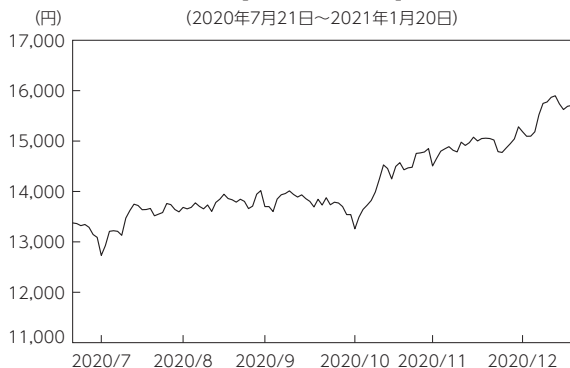
項目	第2期末
	2021年3月22日
純資産総額	5,435,683,532円
受益権総口数	4,643,752,902口
1万口当たり基準価額	11,705円

(注) 期中における追加設定元本額は803,759,113円、同解約元本額は2,607,436,335円です。

組入上位ファンドの概要

日本株好配当マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年7月21日～2021年1月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	12 (12)	0.088 (0.088)
合 計	12	0.088

期中の平均基準価額は、13,844円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

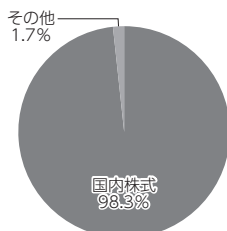
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	4.4%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	2.3
3	伊藤忠商事	卸売業	円	日本	2.0
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	1.9
5	日立製作所	電気機器	円	日本	1.8
6	三井物産	卸売業	円	日本	1.8
7	東京エレクトロン	電気機器	円	日本	1.8
8	武田薬品工業	医薬品	円	日本	1.8
9	村田製作所	電気機器	円	日本	1.8
10	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	1.8
	組入銘柄数			130銘柄	

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

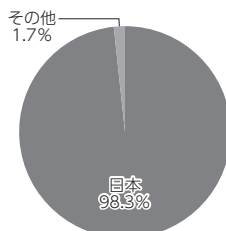
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

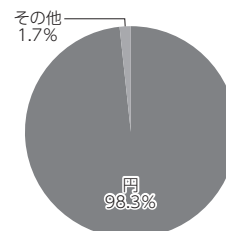
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

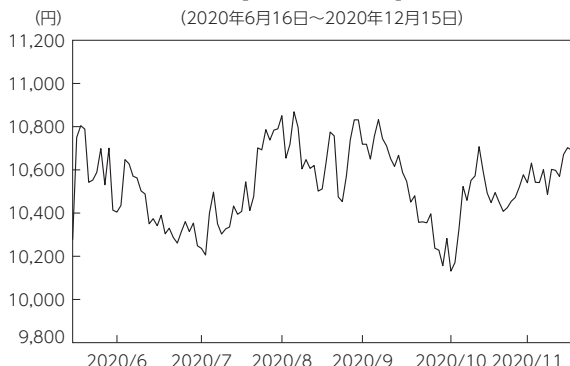
(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2021年1月20日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

Jリート・アクティブ・ファンド (適格機関投資家向け)

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	第26期～第31期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	29	0.276
(投 信 会 社)	(26)	(0.248)
(販 売 会 社)	(1)	(0.006)
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.030
(投 資 信 託 証 券)	(3)	(0.030)
(c) そ の 他 費 用	2	0.015
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)
(印 刷 費 用)	(1)	(0.014)
合 計	34	0.321

作成期間の平均基準価額は、10,480円です。

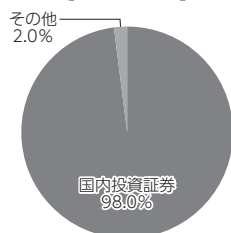
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

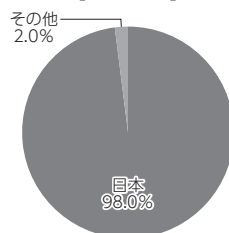
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1 野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	7.9
2 ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	7.4
3 日本ビルファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	7.3
4 大和ハウスリート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.2
5 アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.9
6 オリックス不動産投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.5
7 ヒューリックリート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.8
8 日本リート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.7
9 サンケイリアルエステート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.5
10 日本プライムリアルティ投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.5
組入銘柄数		32銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

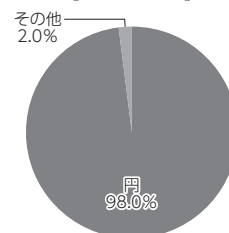
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年6月15日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2019年7月9日～2020年7月8日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2019年7月9日～2020年7月8日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投資信託会社) (販売会社) (受託会社)	16 (11) (1) (4)	0.143 (0.099) (0.011) (0.033)
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.007 (0.007)
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	3 (1) (0) (2) (0)	0.027 (0.010) (0.002) (0.014) (0.000)
合計	20	0.178

期中の平均基準価額は、11,410円です。

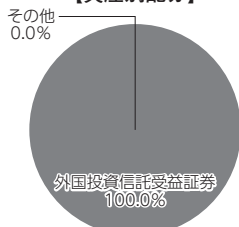
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

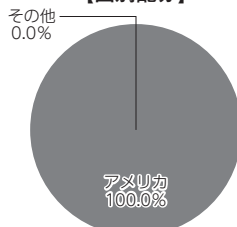
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ISHARES GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	92.8
2	SPDR GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	7.2
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
組入銘柄数			2銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

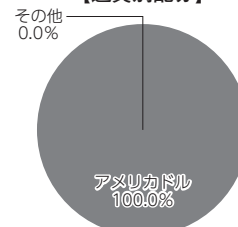
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年3月9日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2020年3月10日～2020年9月8日)

項 目	第37期～第42期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	10	0.091
(投 信 会 社)	(8)	(0.072)
(販 売 会 社)	(1)	(0.006)
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)
(b) そ の 他 費 用	0	0.003
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)
(印 刷 費 用)	(0)	(0.002)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	10	0.094

作成期間の平均基準価額は、10,978円です。

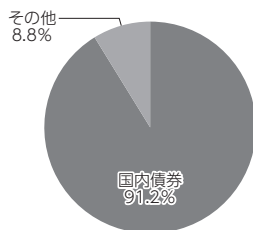
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

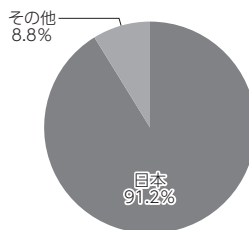
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	第65回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	22.1%
2	第64回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	15.7%
3	第128回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	12.9%
4	第148回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	10.6%
5	第150回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	10.5%
6	第12回利付国債(40年)	国債証券	円	日本	7.0%
7	第62回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	6.6%
8	第129回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	4.3%
9	第132回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	1.7%
10	-	-	-	-	-
	組入銘柄数		9銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

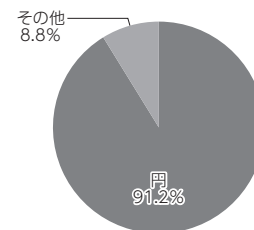
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年3月9日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- **日本株**
Morningstar 日本株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- **先進国株**
Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- **新興国株**
Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- **日本国債**
Morningstar 日本国債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- **先進国債**
Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- **新興国債**
Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、新興国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar,Inc.、またはイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar,Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」といいます）の能力について、当ファンドの受益者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「委託会社」といいます）とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマークおよびサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、委託会社または当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および／または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者もしくはユーザー、またはその他の人もしくは法人が、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。